



News Release

アニメ放送25周年「ちびまる子ちゃん」 百貨店で人気の手土産菓子とコラボ

日本アニメーション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石川和子)がTVアニメーション制作を手がける『ちびまる子ちゃん』がアニメ放送25周年を迎えたことを記念し、東京都内の百貨店を中心に人気を集める老舗菓子店「西光亭(せいこうてい)」「松崎煎餅」より、コラボレーション商品が発売されました。

四半世紀にわたりお茶の間でご愛顧いただいている『ちびまる子ちゃん』があらわれた可愛い手土産を通じて、贈る方も、贈られた方も笑顔になれるひとときを創ります。



花火

富士山

さくら



ランドセル型の紙箱に入っています

「りすのクッキー」で人気の洋菓子店「西光亭」

コラボ商品: **クッキー外箱イラスト「なかよし家族」**
※「西光亭」のキャラクターとして10年以上愛され続けている「りす」の絵を手掛ける画家、藤岡ちささんの描き下ろしです。
※本店、松屋銀座店、通販サイトでは、クッキーの外箱のイラストを購入時にお選びいただくことができます。
「なかよし家族」とご指定ください。

価格: 1,296円(税込)

発売日: 10月10日(土)より発売中

販売店舗: 本店/松屋銀座店/伊勢丹新宿店/通販サイト
※上記以外の店舗につきましては各店舗に直接お問い合わせください
<http://www.seikotei.jp>

瓦煎餅で人気の和菓子店「銀座 松崎煎餅」

コラボ商品: **瓦煎餅「江戸瓦 三味胴(しゃみどう)」**
※松崎煎餅の代表的な瓦煎餅で、三味線の胴に似ていることから「三味胴」という名前になりました

価格: 3枚入 500円(税抜)

発売日: 10月27日(火)

販売店舗: 銀座本店、高島屋新宿店、高島屋日本橋店、松屋銀座店、松屋浅草店 など

※上記以外の店舗では順次発売となりますので直接店舗にお問い合わせください。

<http://matsuzaki-senbei.com/>

「西光亭」について

西光亭は1982年のクリスマスに、安全で旬な食材を使う欧風家庭料理レストランとして代々木上原駅前にオープンしました。20年以上に渡りレストランを運営していましたが、メニューの1つであった手作りスイーツがテレビや雑誌で紹介され人気となり、スイーツ専門店に。

そんな名残から、現在でも胡麻豆腐やドレッシング等、レストランで大人気だったフーズも作り続けています。全ての材料に吟味を重ね、日本中から最高の素材を取り寄せ、保存剤、着色料、化学調味料等を一切使用せず、手作りにこだわり続けています。

■有限会社サンタネ 〒151-0064 東京都渋谷区上原2-30-3

<http://www.seikotei.jp>

■商品に関するお問い合わせ先:03-3468-2178

「松崎煎餅」について

創業は文化元年(1804年)の芝魚籃坂。三代目・松崎宗八が慶応元年(1865年)銀座(当時の弥左衛門町)に店を移し、現在に至っております。創業当時は三河屋と称し、瓦煎餅(小麦を原料とした煎餅)や焼菓子の製造販売を行っていました。

「三味胴」という商品は卵を使用し、手間を掛け煎餅の表面をなめらかにし、そこに花鳥風月の絵柄を焼印や砂糖蜜で描いたものです。煎餅には無い江戸の季節感を表しています。餅米を原料としたあられ、うるち米を原料とした煎餅も大正の頃より販売しており、ご好評を頂いております。

■株式会社松崎商店 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目3番地11号(本社)

<http://matsuzaki-senbei.com/>

■商品に関するお問い合わせ先:03-3561-9811

「ちびまる子ちゃん」について



©2015 SP/F.N.T.H.FNS

原作:コミックス「ちびまる子ちゃん」

(現在16巻まで発売中、累計発行部数3200万部(2015年9月現在))

静岡県清水市(現:静岡県静岡市清水区)を舞台に、そこに暮らす一家・さくら家の次女である小学3年生のまる子(さくら ももこ)と家族、友だちとの日常を、楽しく面白く、時に切なく描いた心温まる作品。

■歴史

1986年7月 「りぼん」(集英社)8月号にて連載を開始

1990年1月 テレビアニメシリーズ放映開始

(最高視聴率39.9%、平均視聴率15.3% ※いずれもビデオリサーチ調べ 関東地区)

2010年1月 テレビ放送20周年

2011年7月 原作漫画誕生25周年

2015年1月 テレビ放送25周年(フジテレビ系列にて毎週日曜午後6時放送中)

23年ぶりの映画化決定！2015年12月23日公開

本作の映画脚本は原作者のさくらももこ先生自らが担当。

普段の「ちびまる子ちゃん」とはひと味異なる、映画ならではの笑って泣けるストーリーでまる子がスクリーンに帰ってきます。

映画では、まる子が清水市を飛び出し、作品史上初めでの大阪・京都へ旅行。

スクリーンいっぱい広がるまる子達の活躍にご期待ください。

本件に関するお問い合わせ先

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当: 弥山(ややま)

電話: 03-3574-6281 携帯: 050-3394-5089 / E-mail: yayama@nippon-animation.co.jp